

北谷北部くさなぎコミュニティ 中学生以上全住民アンケート 分析レポート

～速報版～

2020年12月9日
NPO法人まちづくり学校

1

アンケートの配布・回収・入力作業、
本当にご苦労さまでした。

今回の報告では、
年代や男女別で集計した結果をお伝えします。
地域の状況や事情、これまでの活動の履歴などが
結果に反映していると思いますので、
後ほどの意見交換で
みなさまの感想や意見を出し合ってください。
それをもとに最終的な分析作業を行います。

2

2

北谷北部地区の人口推移と今後の予測

	各年の国勢調査データ				増減率から算出			
北谷北部	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	
人口(人)	3,919	3,928	3,823	3,768	3,627	3,463	3,287	
0~14歳	650	625	559	503	482	467	452	
	15年間で22.6%減少			今後さらに10.1%減少				
15~64歳 (A) (生産人口)	2,665	2,552	2,364	2,174	2,018	1,907	1,818	
	15年間で18.4%減少			今後さらに16.4%減少				
65歳~ (高齢者率)	604 15.4%	751 19.1%	900 23.5%	1,091 29.0%	1,127 31.1%	1,090 31.5%	1,017 30.9%	
	15年間で80.6%増			地域活動の担い手の世代は40.1%減少				
65~74歳	370	445	532	619	552	428	371	
75歳~	234	306	368	472	575	662	646	
85歳~(B)	50	77	94	137	156	191	233	
					85歳以上は今後70.1%増加			
※85歳以上の4人1人が要介護3以上/要介護3以上の2人に1人が85歳以上								
A+B	53.3人	33.1人	25.1人	15.9人	12.9人	10.0人	7.8人	

※2015年の高齢者率 新潟県平均：29.85% 全国平均：26.63%

3

中学生以上全住民アンケートの実施

北谷北部地区に住む中学生以上の全住民を対象とし、
これからの地域づくりやコミュニティ活動についての
意向を把握するアンケート調査。
令和2年9~10月に配布・回収。

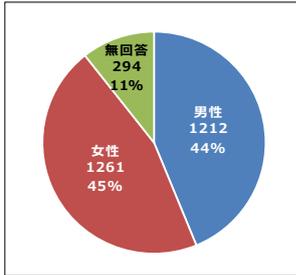
対象人口：3,397人
回収数：2,767通
(中学生は学校で実施)



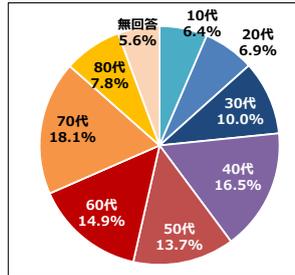
4

問 1.回答者属性

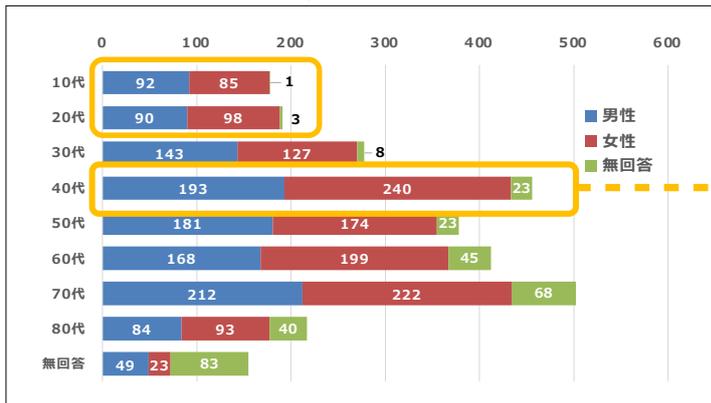
Q1-1 性別



Q1-2 年代



年代別×男女別



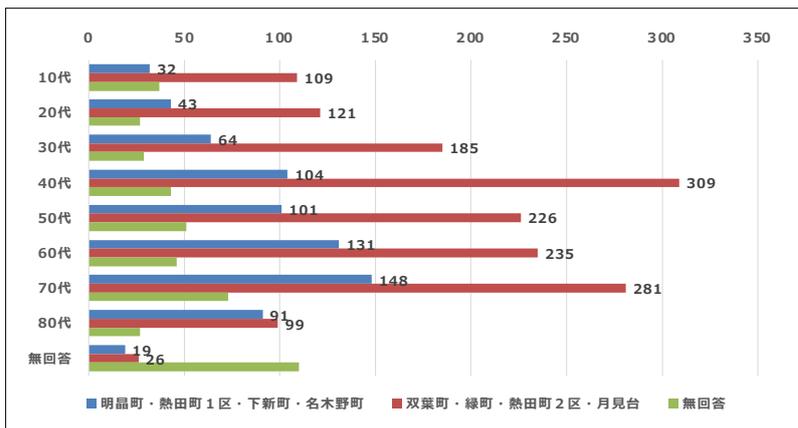
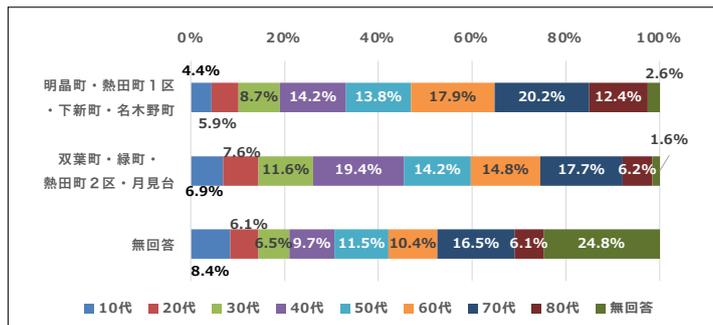
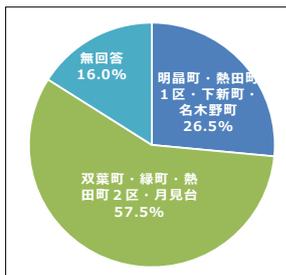
10代20代は少数派。
意識して意見を聞くようにしないと埋もれてしまう可能性あり。

40代の住民が多い。
この世代の考えをこれからの地域づくりに反映させる必要があるのでは？

40代以降の人口がほぼ4分の3。
20年後は？

回答者属性

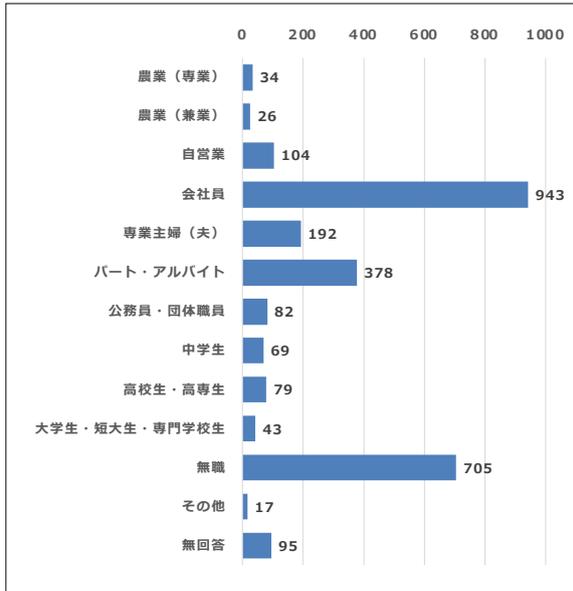
Q1-3 居住地



北谷北部地区内でもエリアごとに人口構成は異なる。
明晶町～名木野町は高齢世代が多い。
双葉町～月見台では、若い世代が明晶町～名木野町の約3倍。

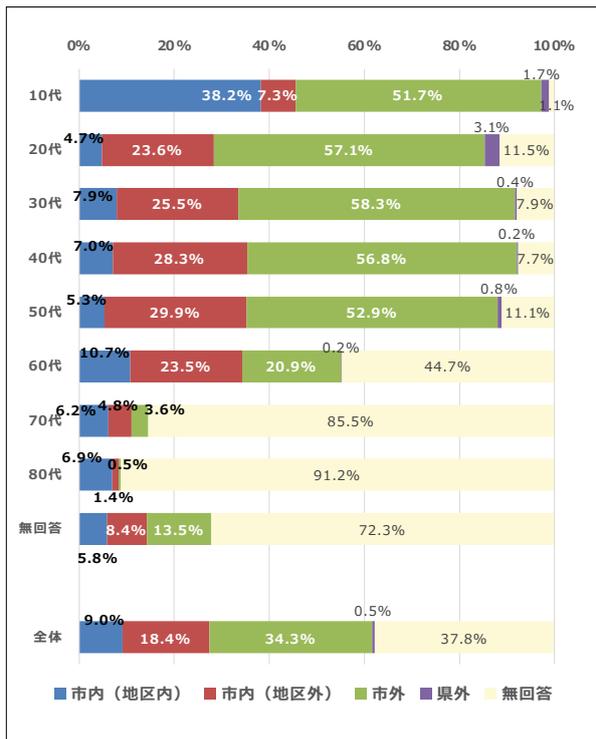
→それぞれのエリアで優先的に取り組むことが異なるのでは。

問2. 職業



- ・職業は「会社員」がトップ。
- ・「無職」（年金生活含む）は高齢者がほとんどで、61.7%が60代と70代。
- ・農業従事者は83.3%が60代以上。
- ・通勤・通学場所は50代以下で「市外」が半数以上。→災害などの緊急時、家族や地域での対応は？

問3. 通勤・通学場所

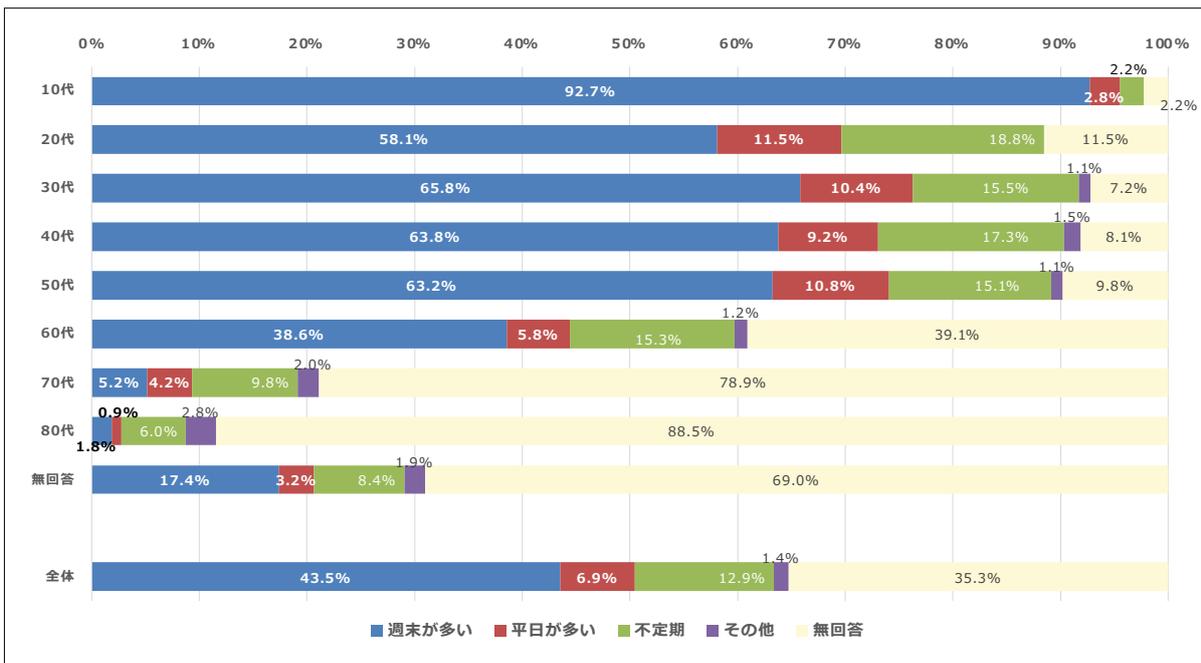


※「無職」選択者は無回答

7

7

問4. 休日



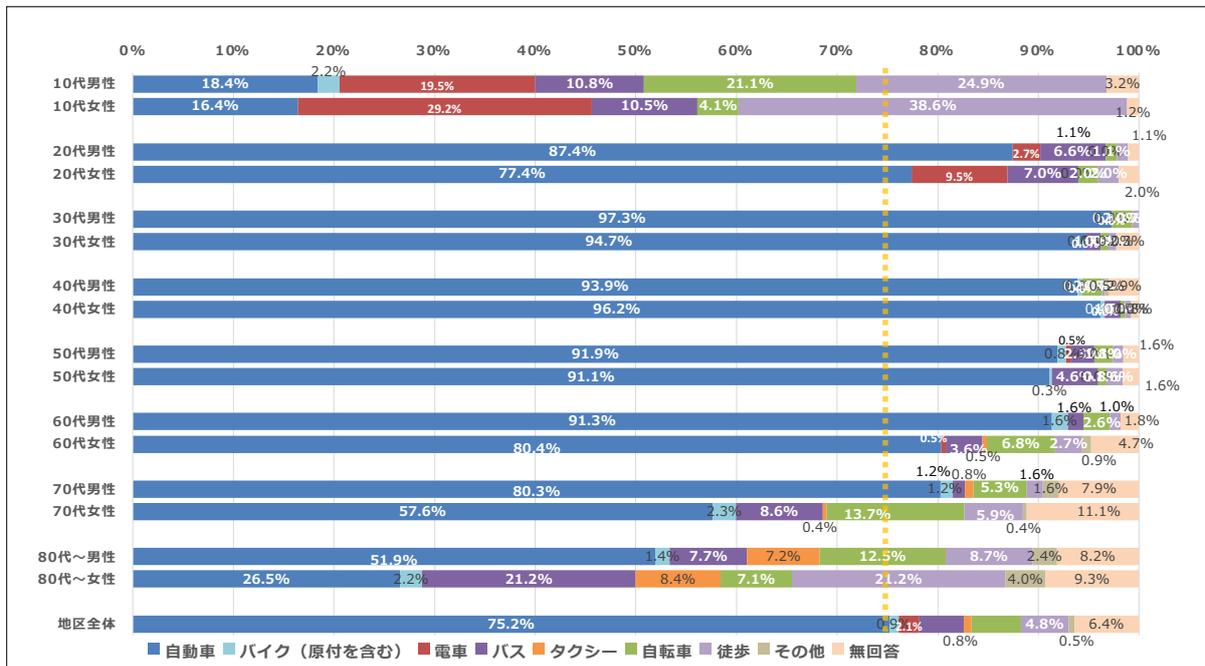
- ・会社員が多いため休日は週末が多いが、50代以下でも2～3割は平日や不定期での休日。→パートやアルバイト職と想定されるが、平日の昼間でも地域内に比較的若い世代がいる。ちょっとした地域活動のお手伝いは可能？

8

8

問5. 日常の主な交通手段

問5-1 日常の主な交通手段



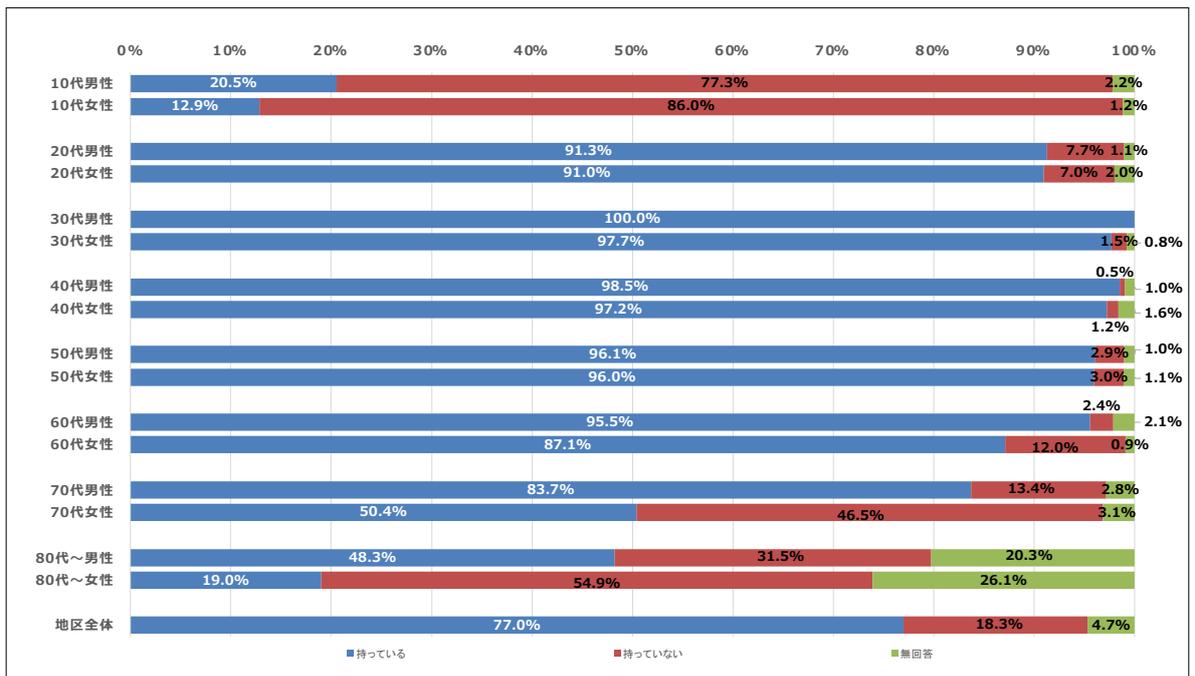
- ・20代女性を除き20代から70代男性まで8割以上が自家用車利用。
- ・80代でも男性は半分、女性は約4分の1が自家用車利用。送迎も考えられるが、公共交通機関が少ないためか。

9

9

日常の主な交通手段

問3-2 運転免許所有状況



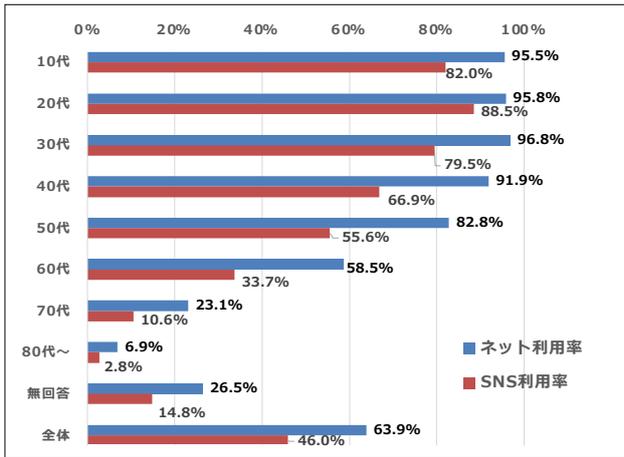
- ・問3-1 (交通手段) の結果と相関する。20代～70代男性までほとんどが免許保有。30代男性は100%。70代女性～80代以上は免許所有率が下がる。→家族による送迎は外出を控えたり家族の負担になっていないか？

10

10

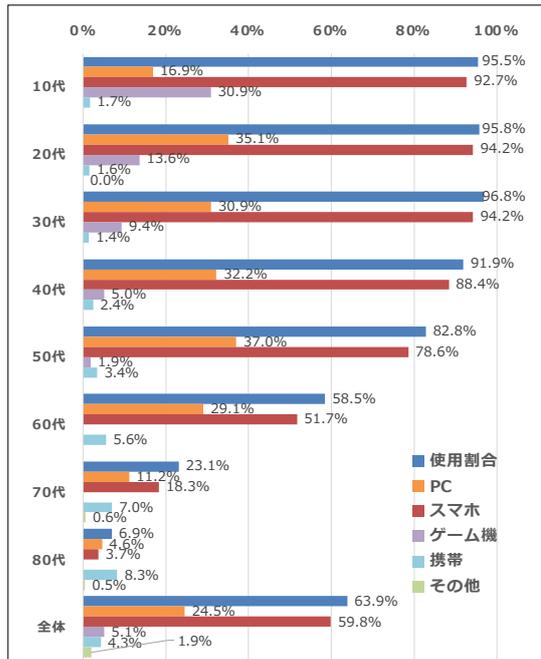
問6. インターネットの利用状況

年代別インターネットの利用率とSNS利用率



- ・全体の64%がインターネットを利用しており、40代以下は9割以上が利用（50代でも8割を超える）。
- ・50代以下と60代以上で明らかに差があり、70代以上は激減。
- ・10～30代のSNS利用率も高く、高齢世代は下がるが60代でも3分の1の人は利用している。

年代別インターネット利用における使用機器

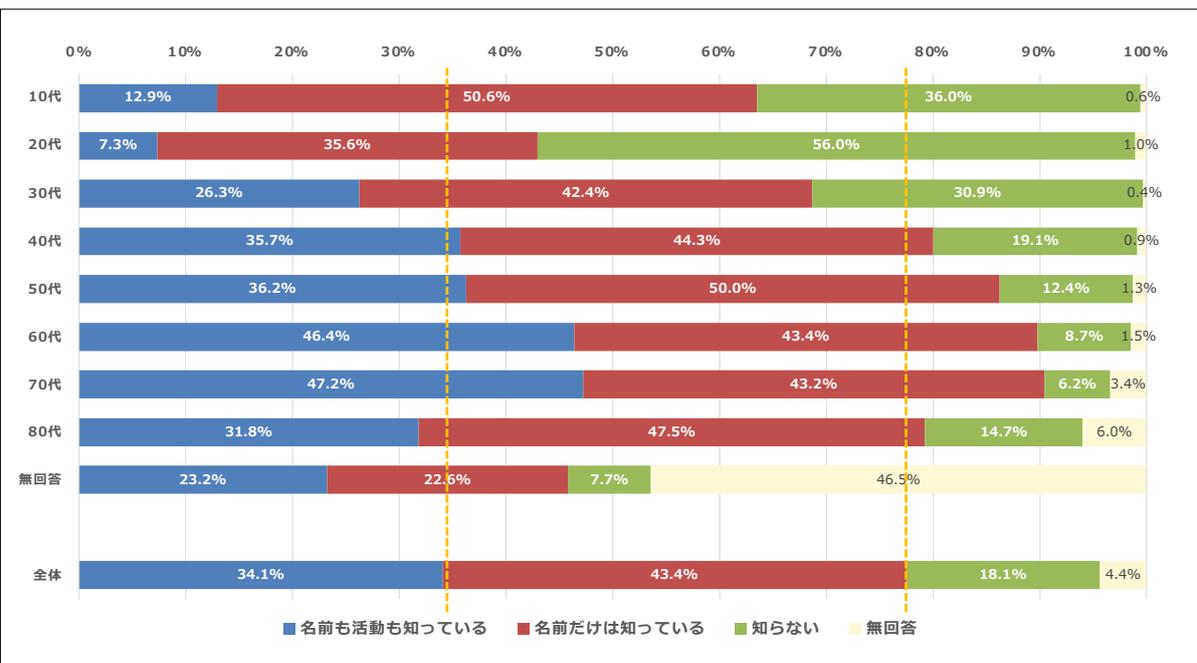


地域の情報や連絡は、紙媒体のほかにインターネット経由にすることで、関心や参加を生む可能性が高まるのでは？

パソコン利用もあるが、圧倒的にスマホでネットを利用している。60代以上になるとスマホ以外の携帯電話が増加。

11

問7. くさなぎコミュニティの認知度

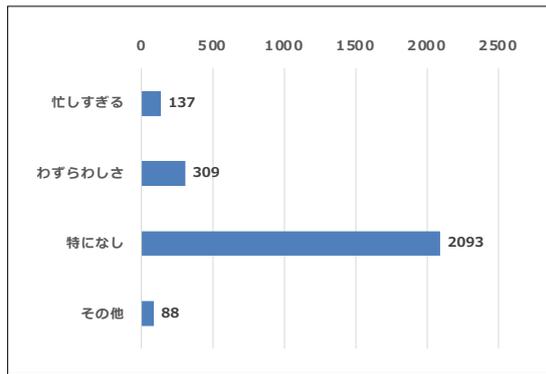


- ・77.5%の住民がくさなぎコミュニティの存在を知っているが、活動まではあまり知られておらず、特に若い世代で顕著。20代は「知らない」が半数以上。
- ・しかし、10代女性の認知度は高く、他の質問項目でも積極的な回答が見られる。子ども向け行事や学校とのつながりなど、これまでの活動で関わりがあったか？

12

12

問 8. 近所づきあいの悩み (複数回答)

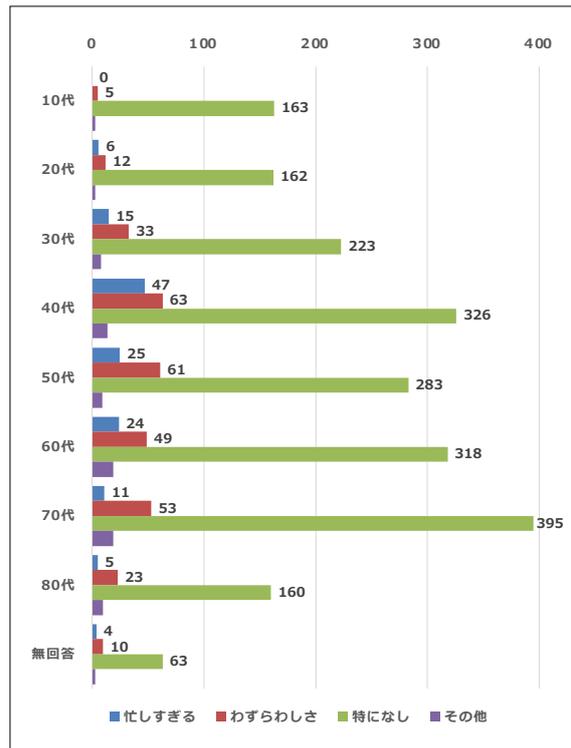


- ・特になしが多数。
- ・30代～70代でわずらわしさを感じる人が増える。



悩みが本当はないのか、
つきあいがなかったり適度な距離なのか？

年代別

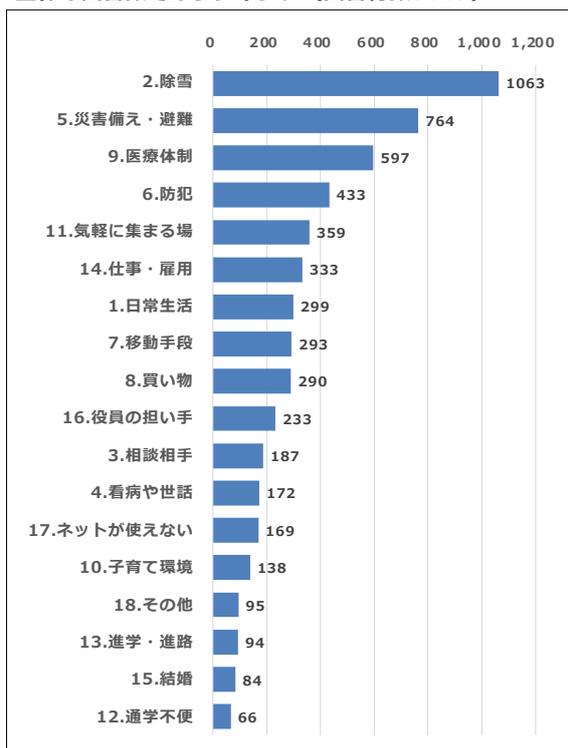


13

13

問 9. 日常生活での不安・困りごと (5つ回答)

全体の回答数でのランキング (回答総数5669)



「除雪」が最も多く、
「災害への備え・避難」
「医療体制」「防犯」と続く。



世代別では違いあり。

- ・「除雪」「災害への備え」が上位になったのは近年の大雪や多発する災害が影響が考えられるが、それぞれ、どんなことが困っている？

14

14

日常生活での不安・困りごと

世代別ランキング

	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	無回答
1.日常生活	5.3%	4.6%	4.6%	5.9%	5.6%	5.0%	3.4%	6.1%	7.6%	2.6%
2.除雪	18.8%	8.3%	16.5%	17.7%	18.9%	19.6%	21.4%	19.3%	21.6%	17.6%
3.相談相手	3.3%	2.3%	3.1%	3.4%	2.9%	3.6%	2.9%	3.5%	4.7%	3.9%
4.看病や世話	3.0%	2.3%	0.9%	2.3%	1.7%	2.8%	2.6%	4.6%	6.1%	3.3%
5.災害備え・避難	13.5%	9.1%	11.3%	11.3%	12.2%	12.5%	17.1%	15.7%	13.5%	15.0%
6.防犯	7.6%	7.1%	5.8%	6.1%	8.6%	8.3%	8.4%	7.5%	6.7%	7.8%
7.移動手段	5.2%	11.4%	5.2%	3.9%	3.8%	4.3%	3.3%	5.7%	8.6%	4.6%
8.買い物	5.1%	7.1%	7.0%	5.0%	3.9%	4.6%	4.3%	4.6%	7.8%	6.5%
9.医療体制	10.5%	3.7%	7.3%	11.6%	11.8%	11.6%	12.6%	9.1%	10.0%	14.4%
10.子育て環境	2.4%	1.4%	3.4%	6.4%	5.6%	1.9%	0.7%	0.3%	0.4%	0.7%
11.気軽に集まる場	6.3%	14.0%	11.9%	6.1%	5.3%	4.3%	5.8%	6.7%	3.7%	5.2%
12.通学不便	1.2%	9.4%	1.2%	1.1%	1.1%	0.7%	0.2%	0.2%	0.4%	0.0%
13.進学・進路	1.7%	12.3%	2.8%	1.8%	1.9%	1.2%	0.0%	0.1%	0.0%	0.7%
14.仕事・雇用	5.9%	2.0%	9.8%	9.7%	9.5%	9.1%	3.9%	2.3%	0.2%	3.9%
15.結婚	1.5%	1.1%	4.6%	3.2%	1.1%	2.1%	0.7%	0.9%	0.2%	1.3%
16.役員の担い手	4.1%	1.7%	0.9%	2.1%	3.9%	5.2%	6.7%	5.1%	1.6%	6.5%
17.ネットが使えない	3.0%	0.9%	0.9%	0.2%	1.1%	1.7%	4.5%	6.0%	5.7%	4.6%
18.その他	1.7%	1.1%	2.8%	2.1%	1.1%	1.5%	1.3%	2.5%	1.2%	1.3%

第1位 第2位 第3位 第4位 第5位

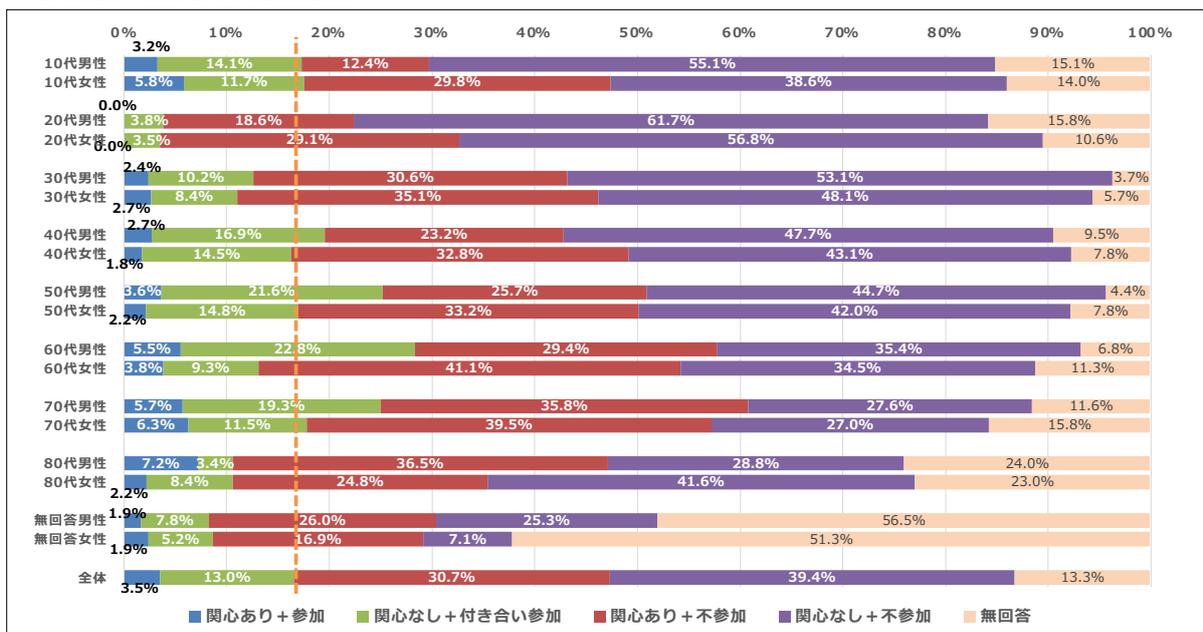
- ・10代20代は「気軽に集まる場」へのニーズが高い。70代でも高いかなぜ？
- ・「医療体制」に対する不安が高いのは若い世代でも見られるが自分自身ではなく子どもを考えてか？
- ・免許を持たない10代と80代で「移動手段」が上位。
- ・20代～50代で「仕事・雇用」に対する不安があるのは、感染症の影響もあるか？
- ・年代が高まるにつれ買い物や移動手段を含めた日常生活に関わる作業が不安になっている。

15

15

問10. 地域活動への関心

地域活動への関心（参加状況順）

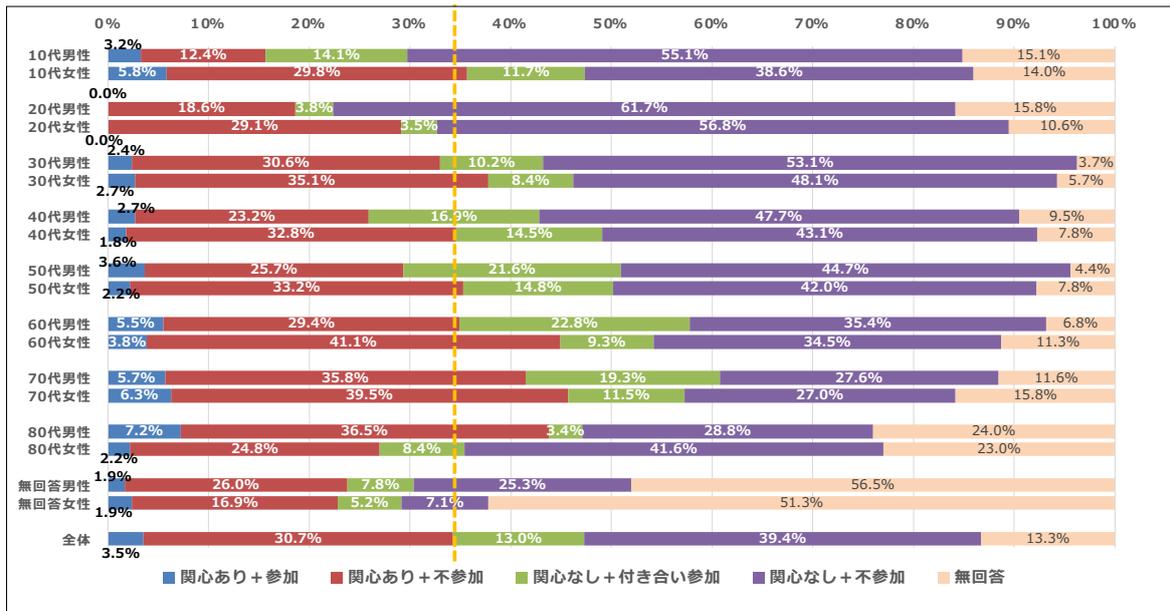


参加は16.5%にとどまり、不参加が7割。20代はほとんど参加していない。
→しかし、「関心」で並べ替えると…

16

16

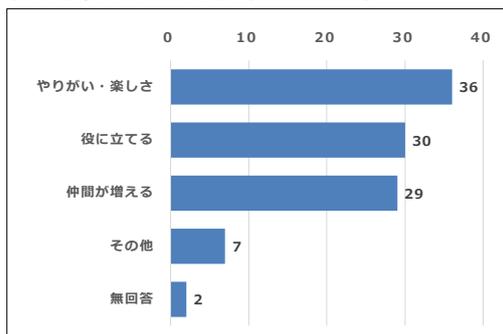
地域活動への関心（関心順）



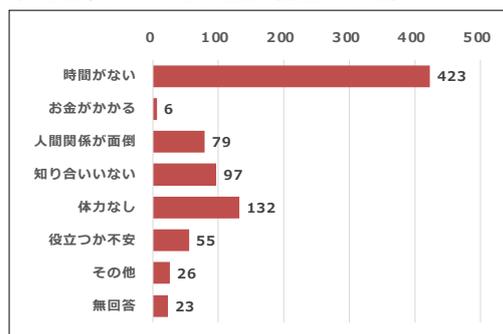
参加は16.5%だが、関心のある人は全体で34.2%。特に女性が高い比率。
→参加しない（できない）原因を解消すると参加につながる？

関心あるなしの理由については、複数回答が膨大であるため処理が遅れています。
今回は現段階での有効回答数で報告します。

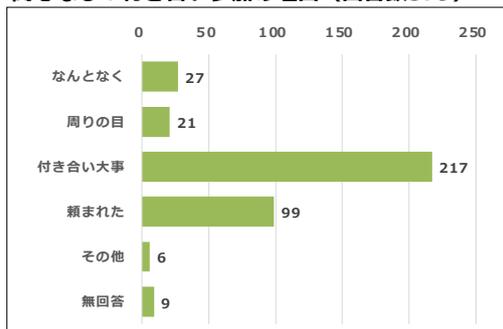
関心あり+参加の理由（回答数104）



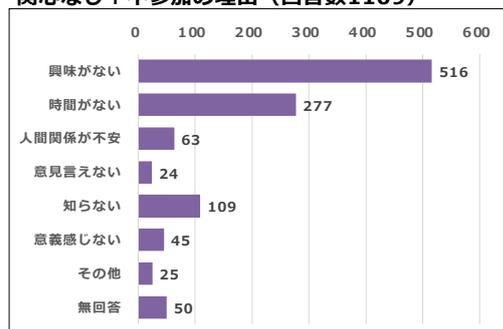
関心あり+不参加の理由（回答数841）



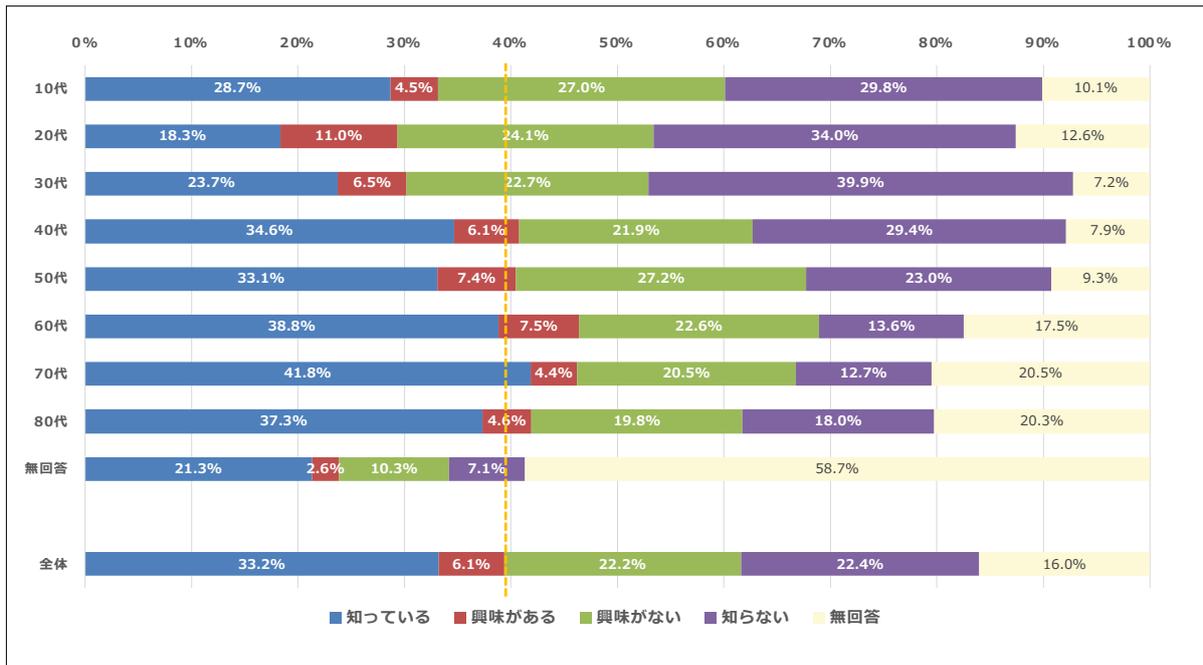
関心なし+付き合い参加の理由（回答数379）



関心なし+不参加の理由（回答数1109）



問11. 耳取遺跡の認知度



- ・約3分の1が知っているが、「知らない」「興味がない」は約45%。知ることで興味がわく人もいるのでは？
- ・若い世代の認知度は低い、20代では「興味がある」が他世代より高い比率。

19

19

問12. 地区にこれから大切だと思う活動 (5つ回答)

全体の回答数でのランキング (回答総数7107)



「高齢者の生活支援」が最も多く、「地区の美化保全」「防災・消防」「防犯・交通安全」と続く。

20

20

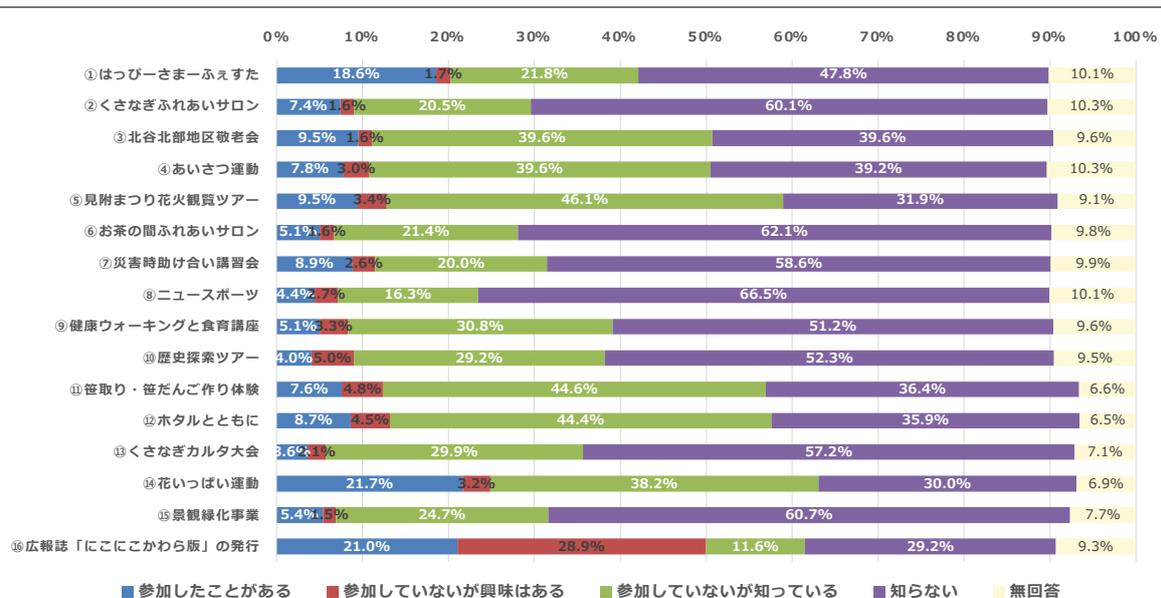
世代別ランキング

	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	無回答
1.集まる場・交流	9.8%	12.2%	7.6%	9.1%	8.9%	7.5%	10.8%	12.1%	9.8%	10.0%
2.地区の美化保全	11.3%	10.7%	12.7%	10.7%	10.6%	12.3%	12.0%	11.5%	9.8%	9.5%
3.防災・消防	11.3%	10.0%	10.2%	10.5%	11.7%	12.4%	10.8%	10.6%	12.1%	15.2%
4.防犯・交通安全	10.5%	8.5%	10.9%	9.2%	11.2%	10.6%	11.7%	9.6%	11.1%	11.4%
5.高齢者行事	6.0%	5.6%	4.2%	2.4%	4.4%	4.7%	6.0%	8.7%	12.6%	5.7%
6.生涯学習の場	3.9%	3.0%	2.9%	3.5%	2.9%	4.9%	5.0%	4.4%	2.8%	2.4%
7.子ども行事	4.0%	10.3%	7.1%	7.7%	4.9%	2.8%	2.8%	1.6%	0.6%	1.4%
8.女性や若者参加	3.9%	5.1%	5.6%	6.5%	4.8%	4.1%	3.2%	1.9%	1.7%	3.3%
9.親同士の交流の場	2.0%	1.3%	2.2%	3.1%	2.0%	1.7%	2.1%	1.7%	1.9%	2.4%
10.スポーツ行事	2.6%	6.8%	2.0%	3.5%	2.7%	1.9%	2.5%	1.6%	1.9%	2.8%
11.婚活	1.7%	1.1%	3.1%	1.5%	1.1%	2.4%	2.0%	1.5%	1.1%	1.9%
12.地区の魅力体験	3.7%	3.0%	2.0%	4.1%	3.0%	3.6%	4.3%	4.4%	3.6%	3.8%
13.歴史文化の継承・保全	3.2%	3.6%	2.9%	3.2%	3.0%	2.8%	3.2%	3.4%	4.0%	3.8%
14.子どもの安全	9.4%	8.8%	9.6%	11.9%	12.5%	9.3%	7.4%	7.8%	7.2%	9.0%
15.活動の情報共有・PR	4.0%	3.4%	5.6%	3.5%	5.0%	4.0%	3.5%	4.2%	2.8%	2.8%
16.高齢者の生活支援	11.8%	6.2%	10.5%	8.0%	10.0%	14.2%	12.1%	14.1%	16.4%	12.8%
17.その他	0.9%	0.4%	0.9%	1.6%	1.2%	0.9%	0.4%	0.8%	0.6%	1.9%

第1位 第2位 第3位 第4位 第5位

- ・「高齢者の生活支援」は上の世代で上位であるためトップになっているが、若い世代でも気にかけている人は多い。
- ・「美化保全」へのニーズが高い。まちがキレイであることは防犯や防災にもつながるため、組み合わせで行っていきと参加や効果を生むのでは？
- ・「集まる場や交流」は若い世代だけでなく、高齢世代でも求められている。
- ・若い世代では「子どもの安全」も重視。

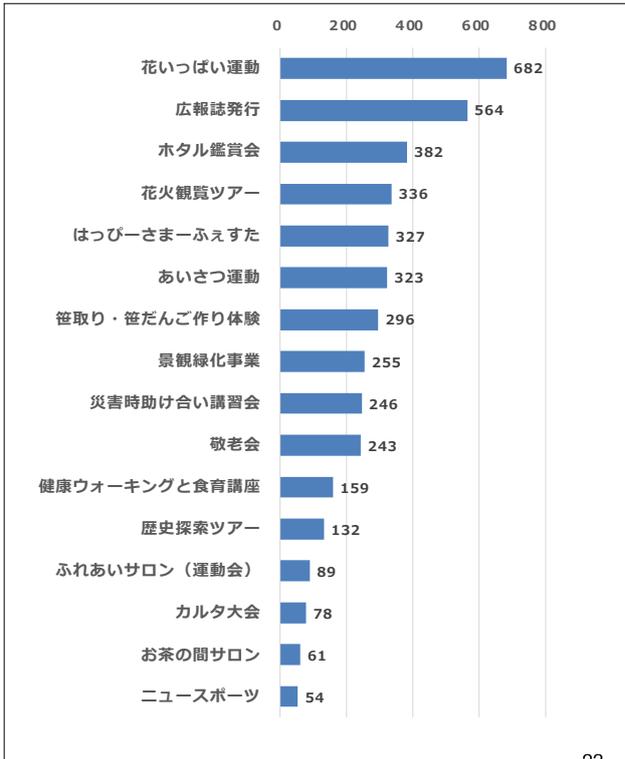
問13. コミュニティ活動の認知度



(注) ・敬老会など対象年代が明確な事業は参加者が限られる。・広報誌の選択肢は「読んでいる」など。

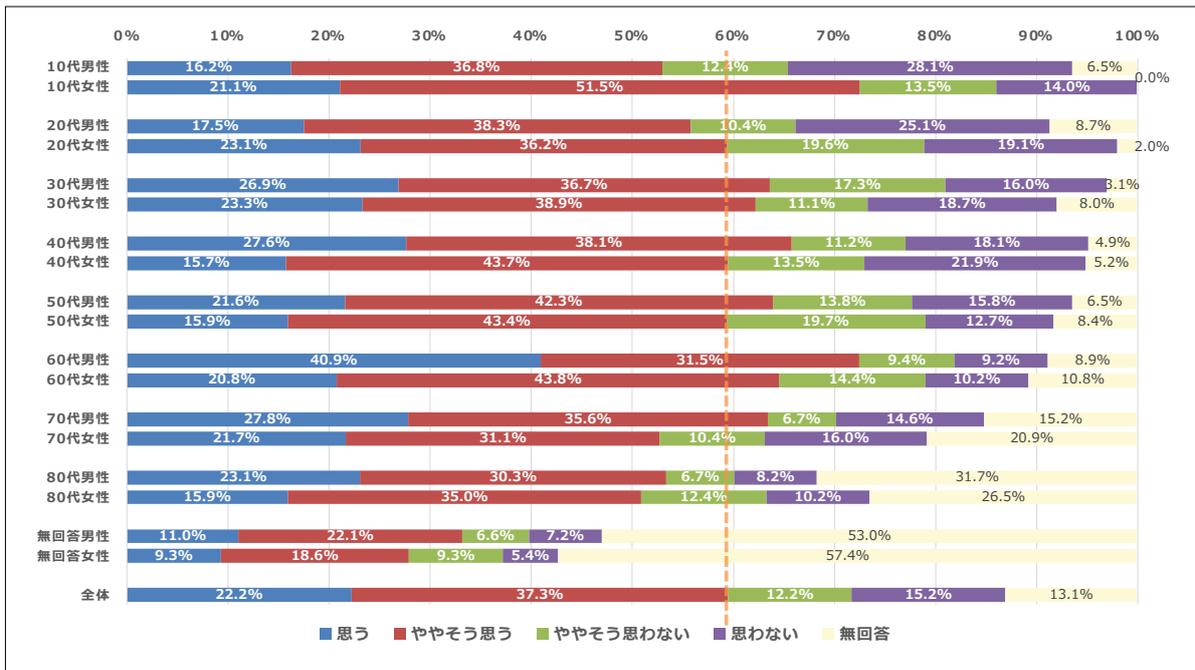
- ・知られていない活動が多い。知っていても内容まではわからないのでは？
- ・広報誌は約4割の人が「読んでいる」「ときどき読んでいる」。ネット利用も併せて関心や参加をうながす伝え方を考えていく必要があるのでは？
- ・食に関わる事業では女性の参加が多く見られる。

問13-2 続けてほしい活動（3つ選択／回答総数4227）



- ・「花いっぱい運動」がトップ。「広報誌発行」ともあわせ、実施していることがわかりやすい活動であるからと考えられる。世代別でも大きな差はない。
- ・活動そのものが知られていない傾向であるため、知っている活動や目に見えてわかりやすい活動を選択している可能性がある。
- ・「花いっぱい運動」は、これから大切にしたい活動の上位である「美化保全」にもつながっているのでは。
- ・「広報誌発行」が上位なのは、コミュニティ活動を知りたい気持ちもある？

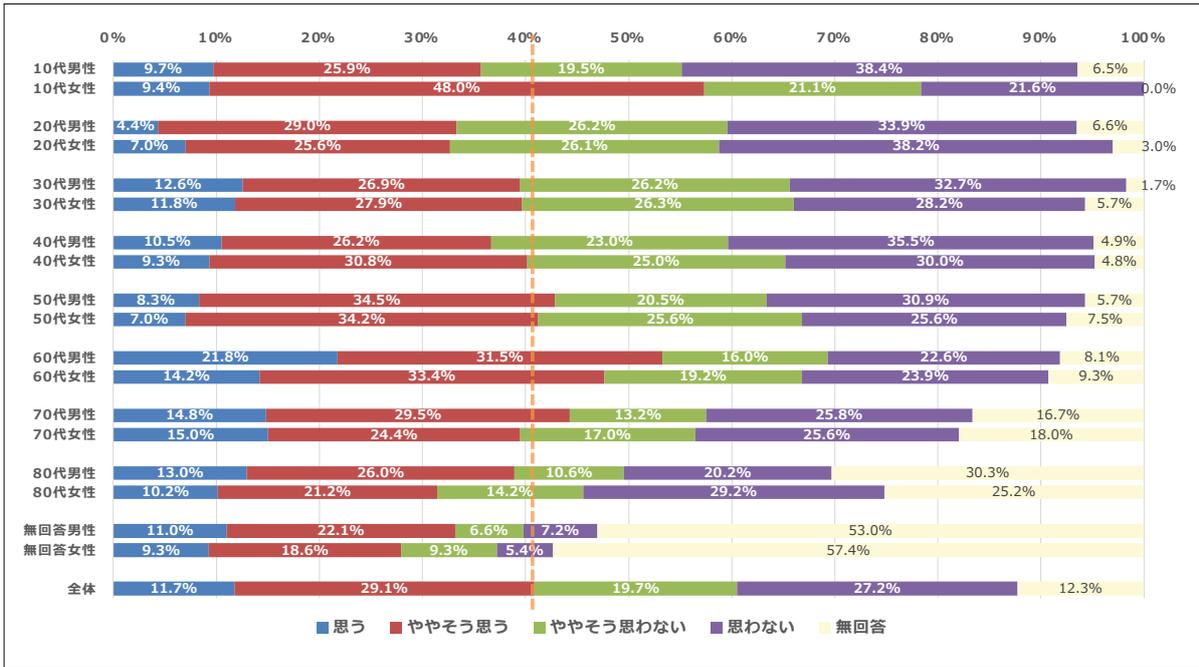
問14. 女性や若者の声をもっと反映されるべきか



- ・全体で約6割が「思う」「ややそう思うこと」。特に10代女性が高比率。一方で、10代20代男性の「思わない」比率が他世代より高め。
- ・「思う」は10代20代大事なでは女性のほうが高いが、世代が上がるにつれ女性は男性より低くなる。

現在の反映状況は？
 足りていないからこの数値か、一般論か？

問15. 他地区との交流を図っていききたいか



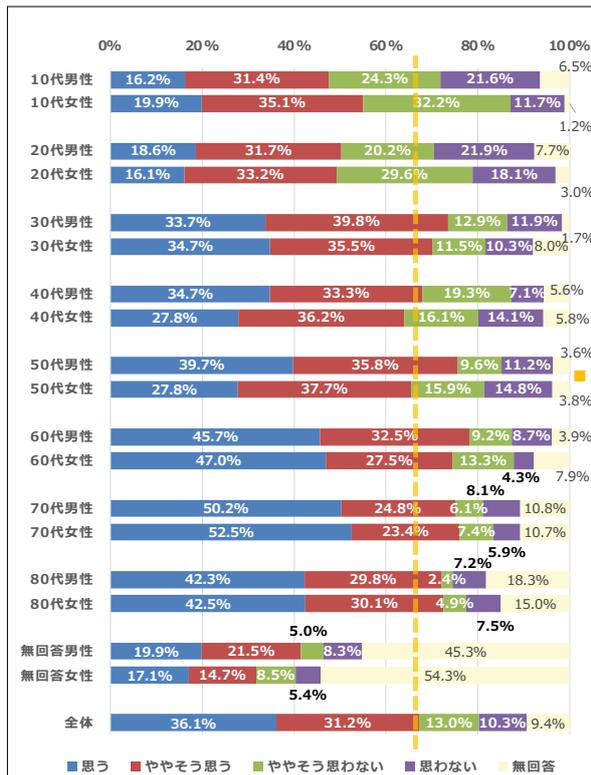
- ・全体では約半分が「そう思わない」
- ・10代女性と60代男性が「そう思う」で高い比率。

▶ 他地区との交流に対するイメージがわからない？面倒と思うか？

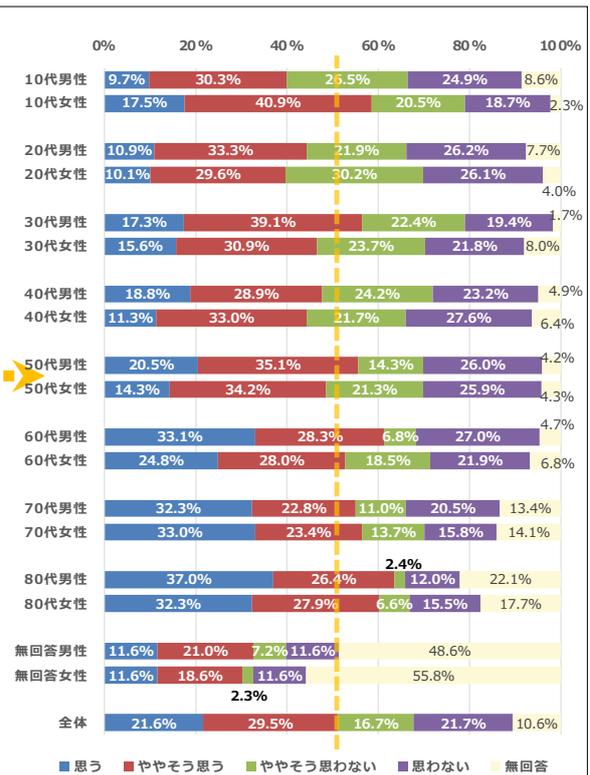
25

25

問16. 今後も北谷北部地区に住み続けたいか



問17. 子どもにも北谷北部地区に住んでもらいたいか



26

26

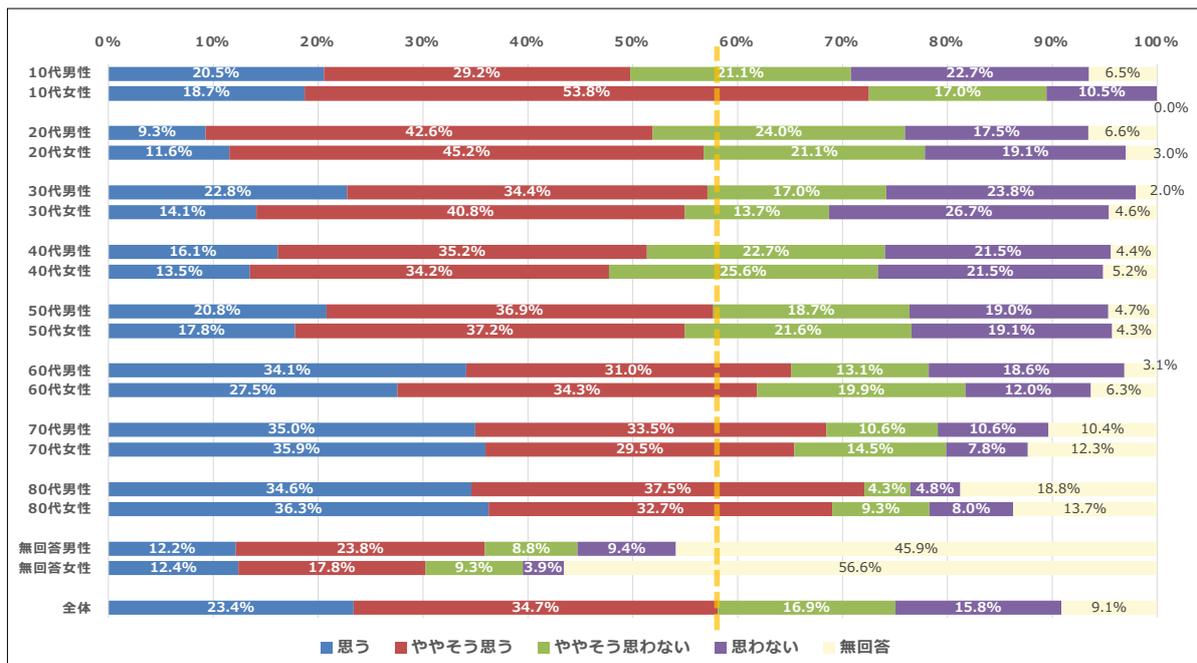
問16 今後も北谷北部地区に住み続けたいか・問17 子どもにも住んでほしいか

- ・住み続けたいと「思う」「ややそう思う」は67.3%だが、子どもに住んでほしいかは51.1%に減る。
この結果は地域にとって高い？低い？
 - ・子どもに住んでほしいかは、子育て世代においては子どもの選択を尊重している可能性あり。
 - ・若い世代は進学や就職、結婚などで住み続けるかは未確定であるため、数値は低くなるが、10代女性は子供にも住んでほしいと考える数値が高い。
 - ・この質問では、概して男性より女性で「住み続けたい」が低くなりがちだが、北谷北部ではあまり差がない。（持ち家比率との関係もあり）
- 北谷北部地区は「住み良い」と考える人が多いのでは？
良い要因は今後の地域づくりのヒントになる。
- ・「思わない」も一定数あるが、考えられる要因は？
これからの地域づくりの結果によって「住み続けたい」に変わる可能性もあるのでは？

27

27

問18. 北谷北部地区に愛着があるか



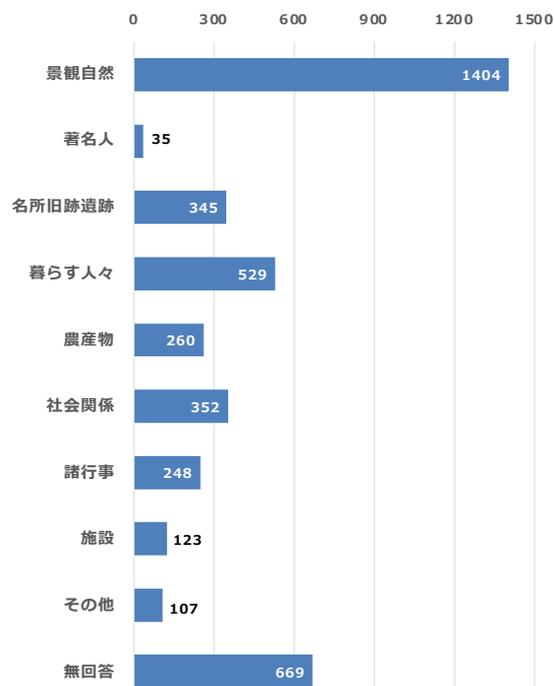
- ・58.1%が「愛着がある」。高齢者が高い比率だが、ここでも10代女性が高比率。
- ・30代以上の女性は結婚により住み始めることもあり愛着は低くなりがちだが、高齢世代でも高い傾向が出ている。
- ・親世代の愛着の高さは子ども世代にも引き継がれているか？ただし、人口の多い40代で他世代より低いのはなぜか？

28

28

問19. 北谷北部地区で誇りに思うもの（複数回答）

集計総数4072

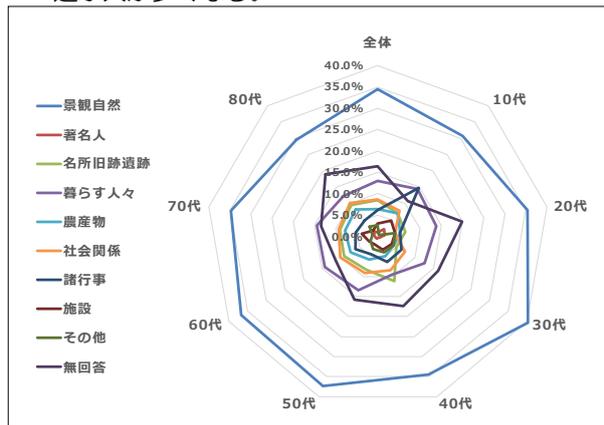


・トップは「景観・自然環境」。無回答も多いが、その後は「暮らす人々」「名所・旧跡・遺跡」と続く。

・無回答は「誇りに思うものがない」という意見も含まれると考えられる。

・10代では「諸行事」が多世代に比べ多く選択されている。

・「暮らす人々」は30代・40代が平均より低い。
・高齢になるほど「助け合いなどの社会関係」を選ぶ人が多くなる。

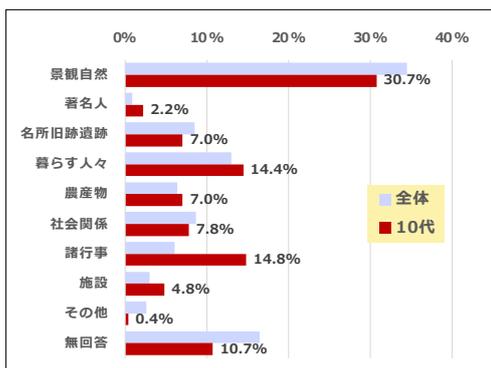


29

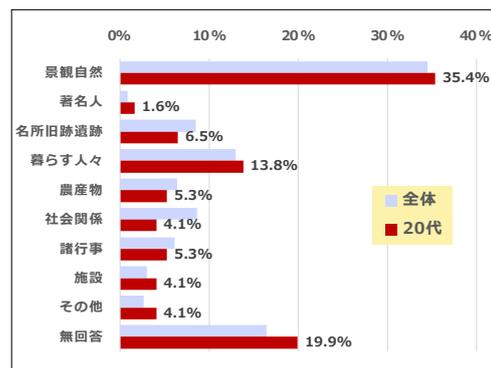
北谷北部地区で誇りに思うもの（複数回答）

世代別

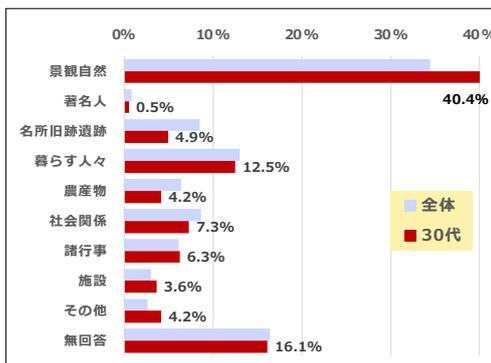
10代



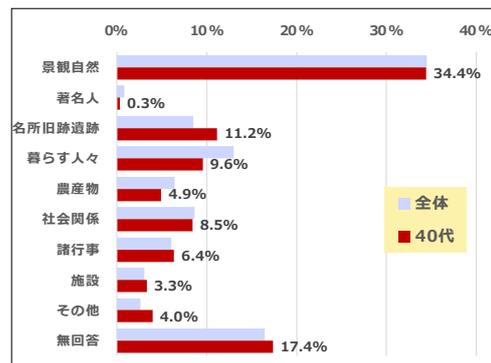
20代



30代



40代

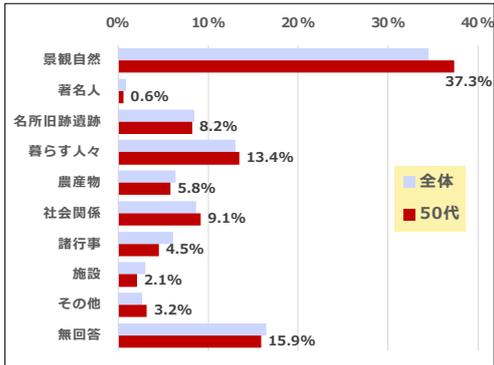


30

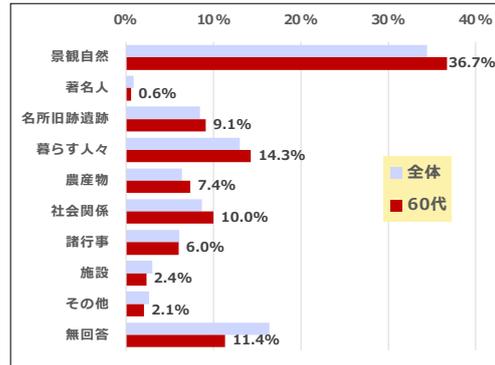
30

世代別

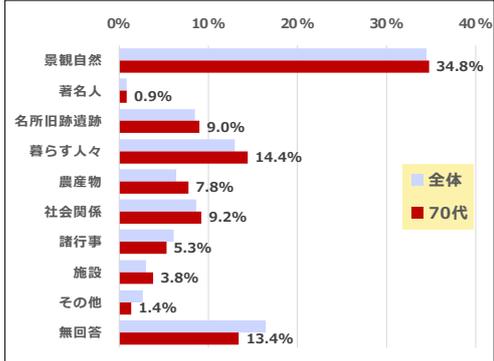
50代



60代



70代



80代

